

日 本 国 特 許 庁

PATENT OFFICE
JAPANESE GOVERNMENT



別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されて
る事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed
this Office.

願 年 月 日

Date of Application:

1999年 4月13日

願 番 号

Application Number:

平成11年特許願第105277号

願 人

Applicant(s):

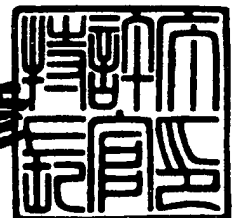
セイコーエプソン株式会社

CERTIFIED COPY OF
PRIORITY DOCUMENT

2000年 4月28日

特許庁長官
Commissioner,
Patent Office

近 藤 隆 彦



出証番号 出証特2000-3030879

【書類名】 特許願

【整理番号】 SE981221

【提出日】 平成11年 4月13日

【あて先】 特許庁長官 殿

【国際特許分類】 H04N 5/225

【発明の名称】 デジタルカメラ

【請求項の数】 5

【発明者】

【住所又は居所】 愛知県愛知郡東郷町春木台 1 - 1 4 - 1 株式会社イリ
デザイン内

【氏名】 大熊 啓祐

【発明者】

【住所又は居所】 長野県諏訪市大和三丁目 3 番 5 号 セイコーエプソン株
式会社内

【氏名】 高橋 幸夫

【特許出願人】

【識別番号】 000002369

【氏名又は名称】 セイコーエプソン株式会社

【代理人】

【識別番号】 100093779

【弁理士】

【氏名又は名称】 服部 雅紀

【手数料の表示】

【予納台帳番号】 007744

【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

【物件名】 明細書 1

【物件名】 図面 1

【物件名】 要約書 1

特平 1 1 - 1 0 5 2 7 7

【包括委任状番号】 9901019

【プルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 デジタルカメラ

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 撮影対象からの光を画像データに変換する撮像部と、
複数の設定情報を含む設定画面を表示可能な表示部と、
複数種類の前記設定画面のうち 1 種を表示部に表示する手段と、
複数の入力手段と、
前記入力手段のいずれか 1 つへの入力により前記設定情報のいずれか 1 つを変更する手段と、
前記設定情報に従って制御を行う制御部と、
を備えることを特徴とするデジタルカメラ。

【請求項 2】 前記入力手段は、前記表示部に表示された複数の設定情報の近傍にそれぞれ設けられることを特徴とする請求項 1 に記載のデジタルカメラ。

【請求項 3】 前記複数の設定情報は、シャッタースピード、絞り、ホワイトバランス、ストロボ設定のうちいずれか一種以上を含むことを特徴とする請求項 1 または 2 のいずれかに記載のデジタルカメラ。

【請求項 4】 前記入力手段に入力する毎に、前記設定情報の複数の内容を循環して変更する手段を備えることを特徴とする請求項 1 ～ 3 のいずれか一項に記載のデジタルカメラ。

【請求項 5】 前記表示部は、前記画像データに基づく画像を表示できることを特徴とする請求項 1 ～ 4 のいずれか一項に記載のデジタルカメラ。

【発明の詳細な説明】

【0 0 0 1】

【発明の属する技術分野】

本発明は、撮影対象からの光をデジタルデータに変換して記憶するデジタルカメラに関するものである。

【0 0 0 2】

【従来の技術】

従来より、CCD等の光センサにより光を電気信号に変換し、その電気信号を

デジタルデータに変換してフラッシュメモリ等の記憶媒体に記憶するデジタルカメラが知られている。デジタルカメラでは、パーソナルコンピュータ等を用いて画像データの保存や様々な加工を個人で手軽に行えるほか、プリンタに画像データを出力することによりフィルムの現像をすることなく写真を印刷することができる。また、プリンタの印刷品質の向上により、銀塩写真とほとんど区別がつかないほど、品質の高い写真も印刷できるようになってきている。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】

上記のような従来のデジタルカメラは多くの機能をもつようになり、使用者が好みによって多くの項目を設定できることが望まれている。しかしながら、使用者がすばやく設定を変更するのを可能とするためには、ボタンなどの入力手段を多数設ける必要があり、どのボタンを押せばよいかわかりにくい。また、一つのボタンが小さくなるため、正確に押し難いという問題があった。ボタンの数を減らすために、メニュー画面を表示し、選択キーと決定キーにより実行する処理や設定情報の内容の選択を行うデジタルカメラもあるが、1つの処理を実行するのに、複数のボタンを何度も押さなければならず、操作が煩雑であるという問題があった。

【0004】

本発明は上記の問題を解決するためになされたものであり、その目的は、簡単な操作で種々の設定を変更することができるデジタルカメラを提供することにある。

【0005】

【課題を解決するための手段】

本発明の請求項1記載のデジタルカメラによれば、撮影対象からの光を画像データに変換する撮像部と、複数の設定情報を含む設定画面を表示可能な表示部と、複数種類の設定画面のうち1種を表示部に表示する手段と、複数の入力手段と、入力手段のいずれか1つへの入力により設定情報のいずれか1つを変更する手段とを備える。そのため、1つの設定情報を変更するのに1つの入力手段に入力するのみでよく操作が簡単であり、かつ複数種類の設定画面に応じて入力手段の

役割が変更されるので、比較的少ない入力手段の数で多くの設定を変更することができる。

【0006】

本発明の請求項2記載のデジタルカメラによれば、入力手段は、表示部に表示された複数の設定情報の近傍にそれぞれ設けられるため、どの入力手段に入力したときにどの設定が変更されるかが分かりやすい。

【0007】

本発明の請求項3記載のデジタルカメラによれば、複数の設定情報は、シャッタースピード、絞り、ホワイトバランス、ストロボ設定のうちいずれか一種以上を含む。そのため、撮影条件の変更を簡単な操作ですばやく変更することができる。

【0008】

本発明の請求項4記載のデジタルカメラによれば、入力手段に入力する毎に、設定情報の複数の内容が循環して変更される。そのため、1つの設定を変更するのに複数の入力手段を用いる必要がなく、操作が容易となる。また、循環して変更される設定情報の内容の数は、4つ以下であることが望ましい。

【0009】

本発明の請求項5記載のデジタルカメラによれば、表示部は、画像データに基づく画像を表示できるため、撮影時に表示部をファインダーとして用いたり、撮影済みの画像をその場で確認することができる。

【0010】

【発明の実施の形態】

以下、本発明の実施例を図面に基づいて詳細に説明する。

図3は本発明の一実施例のデジタルカメラ10の構造を説明するためのブロック図である。デジタルカメラ10は、制御部11、集光レンズ12、撮像部としてのCCD (Charge Coupled Device) 13、A/D変換器14、画像データを一時的に記録するRAM (Random Access Memory) 15、圧縮された画像データを記録可能なメモリカード16、メモリカード16が着脱可能なカードスロット20、画像を表示する液晶表示装置 (LCD) 21、LCD 21に表示される画

像のためのデータが格納される V R A M 1 8、メモリカード 1 6 内のデータを外部機器に出力するためのインターフェイス 1 9 などから構成される。

【0 0 1 1】

制御部 1 1 は C P U と、データの入出力手段とを備え、制御プログラムを実行することにより、デジタルカメラ 1 0 の様々な制御を行う。集光レンズ 1 2 には集光レンズ 1 2 に入力される光量を調節するための絞り 1 2 1 が設けられている。C C D 1 3 として、C (Cyan)、M (Magenta)、Y (Yellow)、G (Green) の補色フィルタを有する複数の撮像素子がマトリックス状に配置された C C D 1 3 を用いることにより、カラー画像を撮影することができる。補色フィルタは、C、M、Y の 3 色の場合もある。R (Red)、G (Green)、B (Blue) の原色フィルタを有する C C D を用いる場合もある。R A M 1 5 としてはセルフリフレッシュ機能をもつ S - D R A M (Synchronous Dynamic RAM) が用いられる。

【0 0 1 2】

メモリカード 1 6 は、通電しなくても記録内容を保持することのできる書換え可能な記憶媒体であるフラッシュメモリなどに画像データが記録され、デジタルカメラ 1 0 のカードスロット 2 0 に着脱自在に装着されている。メモリカード 1 6 として例えば P C M C I A 規格に準拠したメモリカード、または P C M C I A カードアダプタに取付け可能なメモリカードを用いることにより、P C M C I A カード用スロットを有するパーソナルコンピュータでメモリカード 1 6 の内容を直接読み書きすることができる。

【0 0 1 3】

図 1、図 2 は本実施例のデジタルカメラ 1 0 を示す背面図および平面図である。デジタルカメラ 1 0 は、使用者が L C D 2 1 またはビューファインダーとしての光学ファインダー 1 1 0 により撮影範囲を決定し、シャッターボタン 1 0 1 を押すことにより撮影が行われる。制御部 1 1 は、シャッターボタン 1 0 1 を可動範囲の途中まで押した「半押し」と、可動範囲の限界あるいは限界近傍まで押した「全押し」を区別して認識することができる。使用者は、デジタルカメラの作動モードを切り替えるモード切り替えダイヤル 1 0 2 により第 1 の撮影モードとしての「ビューファインダーモード」、第 2 の撮影モードとしての「L C D モー

ド」、「Off」、「プレイバックモード」、「ダイレクトプリントモード」、「セットアップモード」の6つのモード中からいずれか1つを選択する。

【0014】

「ビューファインダーモード」は、デジタルカメラ10の消費電力を節約するために、主に光学ファインダー110を用いて撮影を行うモードである。「LCDモード」は、主にLCD21をファインダーとして用いて撮影を行うモードである。「プレイバックモード」は、すでに撮影され、メモリカード16に記録された画像データに基づく画像を表示するモードである。「ダイレクトプリントモード」は、デジタルカメラ10を外部のプリンタにインターフェイス19を介して接続し、画像を印刷するためのモードである。「セットアップモード」は、デジタルカメラ10の撮影条件などの各種設定を行うモードである。モード切り替えダイヤル102が「Off」の位置にセットされた時は、デジタルカメラ10の電源はオフになる。

【0015】

LCD21の周囲には、入力手段としての入力キー103～109が設けられている。制御部10は、選択されたモードに応じた制御プログラムを実行する。そして、使用者によるシャッターボタン101や入力キー103～109の入力を検出し、それに対応した制御を行う。また、デジタルカメラ10の上部には、画質選択ボタン111、ストロボ選択ボタン112、モード選択ボタン113が設けられている。画質選択ボタン111を押すと、画像データの圧縮率や画素数を変更することにより、記録画質が変更される。ストロボ選択ボタン112を押すと、ストロボの発光モードを「自動的で発光を制御」、「常に発光」、「常に発光しない」の中から選択できる。モード選択ボタン113を押すと、通常の撮影モード、近接撮影モード、拡大撮影モード、パノラマ撮影モードなどの切り替えができる。各選択ボタン111、112、113により設定される内容は、セグメント式のLCD114に表示される。

【0016】

次に、本実施例のデジタルカメラ10の動作を説明する。

モード切り替えダイヤル102を「Setup」の位置にセットすると、デジ

タルカメラ 1 0 は、セットアップモードとなり、LCD 2 1 に図 4 の (A) に示すようなデジタルカメラ 1 0 に関する複数の設定情報を含む選択画面が表示される。

【0 0 1 7】

LCD 2 1 の日付・時刻が表示される位置の近傍に設けられた入力キー 1 0 3 を押すと、LCD 2 1 の表示は図 4 の (B) に示すように切り替わり、日付および時刻の修正を行うことができる。入力キー 1 0 8、1 0 9 で修正する項目を選択し、入力キー 1 0 4、1 0 5 で数値を増減させる。入力キー 1 0 3 または 1 0 7 を押すと図 4 の (A) に示す画面に戻る。

【0 0 1 8】

図 4 の (A) に示す画面が表示された状態で、ビューファインダーモードに関する設定が表示される位置の近傍に設けられた入力キー 1 0 4 を押すと、図 4 の (C) に示す画面になり、ビューファインダーモードの設定が「カスタム」から「自動」に切り替わる。もう一度入力キー 1 0 4 を押すと、図 4 の (A) に示す画面になり、ビューファインダーモードの設定が「自動」から「カスタム」に切り替わる。すなわち、入力キー 1 0 4 を押す毎にビューファインダーモードの設定は、「カスタム」と「自動」とが交互に切り替わる。

【0 0 1 9】

図 4 の (A) に示す画面が表示された状態で、LCD モードに関する設定が表示される位置の近傍に設けられた入力キー 1 0 5 を押した場合も同様に、入力キー 1 0 5 を押す毎に LCD モードの設定は、図 4 の (A) に示す「ME/MF」と図 5 の (D) に示す「AE/AF」とが交互に切り替わる。「ME/MF」モードは、使用者がマニュアルで露光や焦点を設定するモードであり、「AE/AF」モードは制御部 1 1 が自動的に露光や焦点を設定するモードである。

【0 0 2 0】

図 4 の (A) に示す画面が表示された状態で、「他の設定」の文字が表示される位置の近傍に設けられた入力キー 1 0 7 を押すと、図 5 の (E) に示す画面に切り替わり、別の設定情報が表示される。この画面では、入力キー 1 0 3 を押すことにより、省エネルギー設定のあり、なしを選択する。入力キー 1 0 4、1 0

5 を押すことにより、露光の補正を行う。入力キー 1 0 6 を押すことにより、LCD に表示される文字の言語を選択する。入力キー 1 0 8 を押すことにより、撮影時に録音を行うか行わないかを選択する。入力キー 1 0 9 を押すことにより、シャッターボタン 1 0 1 を押したときに、電子合成のシャッター音を発生させるかどうかを選択する。入力キー 1 0 7 を押すと、図 4 の (A) に示す設定画面に戻る。

【 0 0 2 1 】

モード切り替えダイヤル 1 0 2 を「P l a y」の位置にセットすると、プレイバックモードとなり、LCD 2 1 にメモ리카ード 1 6 内の画像データに基づいた撮影済の画像が表示される。また、撮影済み画像の上に重ねて、図 6 の (F) に示すようなメニュー画面が表示される。メニュー画面の表示・非表示は、入力キー 1 0 7 を押すことにより切り替えることができる。

【 0 0 2 2 】

図 6 の (F) に示す画面が表示された状態で入力キー 1 0 3 を押すと、「マニュアル再生モード」から図 6 の (G) に示す「スライド再生モード」に切り替わる。図 6 の (G) に示す画面が表示された状態で入力キー 1 0 3 を押すと、「スライド再生モード」から「拡大・スクロール再生モード」に切り替わる。図 6 の (H) に示す画面が表示された状態で、入力キー 1 0 3 を押すと、「拡大・スクロール再生モード」から「マニュアル再生モード」に切り替わる。

【 0 0 2 3 】

図 6 の (F) に示す「マニュアル再生モード」では、メモ리카ード 1 6 に記録されている画像の枚数と、その中で現在何枚目が LCD 2 1 に表示されているかが例えば「1 2 / 3 2」という形で表示される。入力キー 1 0 4 を押すと、メモ리카ード 1 6 内の格納順で直前の画像が表示され、入力キー 1 0 5 を押すと次の画像が表示される。入力キー 1 0 6 を押すと、誤って画像データを削除するのを防ぐため画像データにロックをかけることができる。もう一度入力キー 1 0 6 を押すとロックは解除される。入力キー 1 0 8 を押すと、LCD 2 1 の 1 画面に表示する画像の数を選択できる。例えば、入力キー 1 0 8 を押す毎に、1 画像、2 × 2 の 4 画像、3 × 3 の 9 画像の表示が循環して切り替わる。入力キー 1 0 9 を

押すと、画像データを削除することができる。削除前には本当に削除してもよい
か、確認画面が表示される。

【0024】

図6の(G)に示す「スライド再生モード」では、入力キー106を押すこと
によりスライド再生を開始し、複数の画像を連続して表示することができる。デ
ジタルカメラ10をテレビなどに接続してプレゼンテーションなどを行うのに好
適である。入力キー104を押すことにより、1つの画像を何秒間表示するかを
設定することができる。入力キー105を押すことにより、スライド再生により
表示される画像を選択することができる。入力キー108を押すことにより、再
生の順番を順方向と逆方向とで切り替えることができる。入力キー109を押す
ことにより、日付・時刻などの撮影情報の表示・非表示を切り替えることができ
る。

【0025】

図6の(H)に示す「拡大・スクロールモード」では、LCD21上の画像を
4×4の領域に分割する線が表示され、そのうち2×2の領域を囲む選択枠が表
示される。入力キー104、105、108、109を押すことにより、選択枠
に囲まれる領域を移動させ、入力キー106を押すことにより、選択された領域
をLCD21の画面いっぱいに拡大表示させることができる。

【0026】

モード切り替えダイヤル102が「SH1」の位置にセットされると、第1の
撮影モードとしてのビューファインダーモードになる。

セットアップモードで、ビューファインダーモードの設定が「自動」になって
いるときは、LCD21には通電されず、LCD21は非表示の状態である。通
常はCCD13に通電されない状態であり、使用者がシャッターボタン101を
半押した段階でCCD13の作動が開始し、制御部11により露光の設定、焦点
の設定、ホワイトバランスの設定などが自動的に行われる。露光は、シャッター
スピードと絞りによって決定される。使用者は光学ファインダー110を用いて
撮影範囲を決定する。ただし、モード切り替えボタン113により、近接撮影モ
ード、拡大撮影モード、パノラマ撮影モードのいずれかが選択されている場合は

、撮影範囲を正確に確認できることが望ましいので、数分の 1 秒～数十分の 1 秒毎に集光レンズ 1 2 により CCD 1 3 に集光された光が電気信号に変換され、デジタルの画像データに変換されて VRAM 1 8 に転送され、LCD 2 1 に撮影対象が動画として表示される。

【0 0 2 7】

セットアップモードで、ビューファインダーモードの設定が「カスタム」になっているときは、LCD 2 1 には撮影対象の画像に重ねて図 7 の (I) に示す選択画面が表示される。初期状態では、ホワイトバランスは自動設定となっている。ホワイトバランスに関する設定が表示された位置近傍の入力キー 1 0 4 を押すと、図 7 の (J) に示す画面に切り替わり、前回カスタム設定したホワイトバランスの設定が使用される。この画面が表示された状態で入力キー 1 0 4 を押すと、図 7 の (K) に示す画面に示す画面に切り替わる。「NO」が表示された位置近傍の入力キー 1 0 5 を押すと、図 7 の (J) に示す画面に戻る。ここで再び入力キー 1 0 4 を押すと、図 7 の (I) に示す画面に切り替わり、ホワイトバランスが自動設定になる。図 7 の (K) に示す画面が表示された状態で、「YES」が表示された位置近傍の入力キー 1 0 6 を押すと、使用者がホワイトバランスをカスタム設定することができる画面に切り替わる。

【0 0 2 8】

図 7 の (I) に示す画面が表示された状態では、ストロボの発光モードは自動設定に固定されており、ストロボ選択ボタン 1 1 2 を押しても変更されない。ストロボに関する設定が表示された位置近傍の入力キー 1 0 5 を押すと、図 8 の (L) に示す画面に切り替わりストロボの発光モードが変更可能になる。

【0 0 2 9】

入力キー 1 0 6 の近傍には、露光補正の設定が表示されている。入力キー 1 0 6 を押すことにより、図 8 の (M) に示す画面に切り替わり、入力キー 1 0 4、1 0 5 を押すことにより、制御部 1 1 が自動的に決定する露光からどれだけ変更するかを決定することができる。入力キー 1 0 7 を押すと、元の画面に戻る。

【0 0 3 0】

また、入力キー 1 0 8 を押すことにより、画像をカラーで記録するか白黒で記

録するかを選択することができ、入力キー 109 を押すことにより、標準感度で撮影するか高感度で撮影するかを選択することができる。

【0031】

使用者がデジタルカメラ 10 のシャッターボタン 101 を半押しすると、CCD 13 が認識する画像に適切な露光やフォーカスが設定され、シャッターボタン 101 が半押しの間露光やフォーカスが固定される。

【0032】

近接撮影モード、拡大撮影モード、パノラマ撮影モードのいずれかが選択されている場合は、「自動」の場合と同様に、数分の 1 秒～数十分の 1 秒毎に集光レンズ 12 により CCD 13 に集光された光が電気信号に変換され、デジタルの画像データに変換されて VRAM 18 に転送され、LCD 21 に撮影対象が動画として表示され、図 7、図 8 に示すメニュー画面は動画の上に重ねて表示される。

【0033】

使用者がシャッターボタン 101 を全押しすると、撮影が開始され画像データの作成が行われる。

まず、CCD 13 に蓄積された電荷が一旦すべて放電され、その後集光レンズ 12 により集光された光が CCD 13 に入力される。CCD 13 では光が光量に応じた電荷に変換される。CCD 13 から出力された電気信号は、A/D 変換器 14 によりデジタル信号に変換される。A/D 変換器 14 から出力されるデジタルデータは高速化のため DMA (Direct Memory Access) により制御部 11 を介さずに直接 RAM 15 のアドレスを指定して転送される。

【0034】

CCD 13 から転送されたデータは、1 画素について 1 色相当の情報しかもないため、RAM 15 に記録されたデータについて周囲の画素の色情報を基に色補間を行い、例えば 1280×960 ピクセルの各画素について色情報をもつ画像データを作成する。

【0035】

次に、メモ리카ード 16 への記録枚数を多くするために J P E G (Joint Photographic Experts Group) の規格による非可逆圧縮方式により圧縮し、容量の小

さな圧縮データを生成する。J P E Gは一般に用いられるカラー画像の圧縮方法であり、圧縮率を変更することにより保存画質を調整することができる。J P E G圧縮は、制御部 11によってソフトウェア的に行うほか、高速化のために専用の回路を用いることができる。J P E G圧縮された圧縮データは、メモリカード 16に記録される。

【0036】

モード切り替えダイヤル 102が「SH2」の位置にセットされたときは、第2の撮影モードとしてのLCDモードとなり、LCD21に撮影対象が動画として表示される。

セットアップモードで「AE/AF」が選択されている場合は、図9の(N)に示すような選択画面がLCD21の動画の上に重ねて表示される。

【0037】

図9の(N)に示す画面では、拡大撮影モードに設定されており、拡大倍率が表示される位置近傍の入力キー 103を押す毎に、拡大倍率の表示が例えば、「×1.25」、「×1.6」、「×2.0」の3つが循環して切り替わり、拡大倍率を設定することができる。LCD21には拡大率に対応した撮影範囲の動画が表示される。

【0038】

また、図9の(N)に示す画面が表示された状態で入力キー 105を押すことにより、図9の(O)に示す画面が表示され、AE/AFの測光モードがスポット測光モードから中央重点測光モードに切り替わる。図9の(O)に示す画面が表示された状態で、入力キー 105を押すことにより、中央重点測光モードからスポット測光モードに切り替わる。

入力キー 104、106、108、109を押したときの動作は、前述したビューファインダーモードで「カスタム」が選択されている場合と同様である。

【0039】

セットアップモードで、「ME/MF」が選択されている場合は、図10の(P)に示すような画面がLCD21の動画の上に重ねて表示される。

デジタルカメラ 10の焦点距離が表示される位置近傍の入力キー 104、10

5を押すことにより、焦点距離を使用者がマニュアルで変更することができる。そのため、わざとピントをずらすことや、手前にピントが合っているいわゆる「前ピン」あるいは後にピントが合っている「後ピン」で撮影することができる。

【0040】

シャッタースピードが表示される位置近傍に設けられた入力キー108を押すと、シャッタースピードを例えば1/2、1/30、1/125および1/750の中から選択することができる。それに加え、図10の(Q)に示すように、設定した絞りに固定したときに適切なシャッタースピードとなるように制御部11が決定する、絞り優先のシャッタースピードを選択することもできる。

【0041】

絞りが表示される位置近傍に設けられた入力キー106を押すと、絞りを例えば、F2.4またはF8のいずれかに選択することができる。それに加え、図10の(R)に示すように、設定したシャッタースピードに固定したときに適切な絞りとなるように制御部11が決定する、シャッタースピード優先の絞りを選択することもできる。

【0042】

使用者がシャッターボタン101を全押しすると、撮影が開始されビューファインダーモードと同様の手順で画像データの作成が行われ、JPEG圧縮された圧縮データはメモリカード16に記録される。画像データがメモリカード16に記録開始されてから完了するまでには数秒から十数秒の時間がかかる場合があるが、その間LCD21には画像データに基づいた画像が表示され続ける。

【0043】

モード切り替えダイヤル102が「DP」の位置にセットされると、ダイレクトプリントモードになる。デジタルカメラ10を外部のプリンタに接続し、使用者が入力キー103～109を操作することにより、撮影済みの画像を選択して印刷することができる。

【0044】

以上、実施例によって説明したように、本発明のデジタルカメラによれば、入力手段に入力することにより表示部に表示された設定情報の内容が直接変更され

るため、すばやく設定情報を変更することができる。また、1つの入力キーがモードに応じて異なる複数の機能を有する場合に、実行される処理の内容が分かりやすい。

【0045】

本発明の実施例では、入力手段として入力キーを用いたが、LCDの表面を押して入力するタッチパネルを用いてもよい。

【図面の簡単な説明】

【図1】

本発明の一実施例によるデジタルカメラを示す平面図である。

【図2】

本発明の一実施例によるデジタルカメラを示す背面図である。

【図3】

本発明の一実施例によるデジタルカメラを示すブロック図である。

【図4】

本発明の一実施例によるデジタルカメラの入力キーと、セットアップモードにおいてLCDに表示される画面を示す図である。

【図5】

本発明の一実施例によるデジタルカメラの入力キーと、セットアップモードにおいてLCDに表示される画面を示す図である。

【図6】

本発明の一実施例によるデジタルカメラの入力キーと、プレイバックモードにおいてLCDに表示される画面を示す図である。

【図7】

本発明の一実施例によるデジタルカメラの入力キーと、ビューファインダーモードにおいてLCDに表示される画面を示す図である。

【図8】

本発明の一実施例によるデジタルカメラの入力キーと、ビューファインダーモードにおいてLCDに表示される画面を示す図である。

【図9】

本発明の一実施例によるデジタルカメラの入力キーと、LCDモードにおいてLCDに表示される画面を示す図である。

【図10】

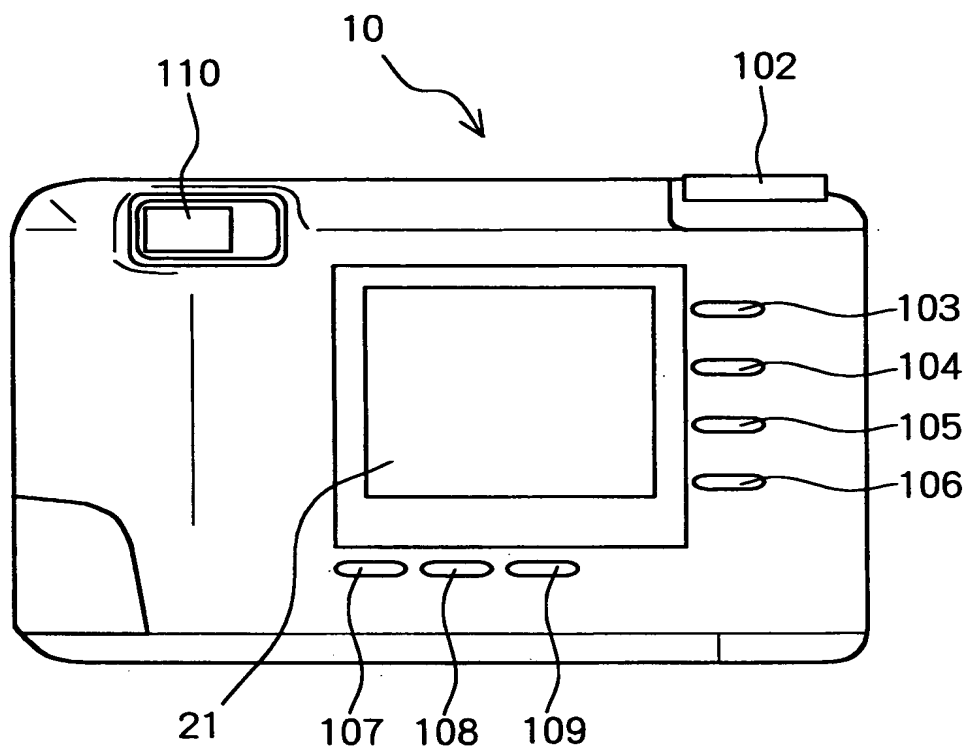
本発明の一実施例によるデジタルカメラの入力キーと、LCDモードにおいてLCDに表示される画面を示す図である。

【符号の説明】

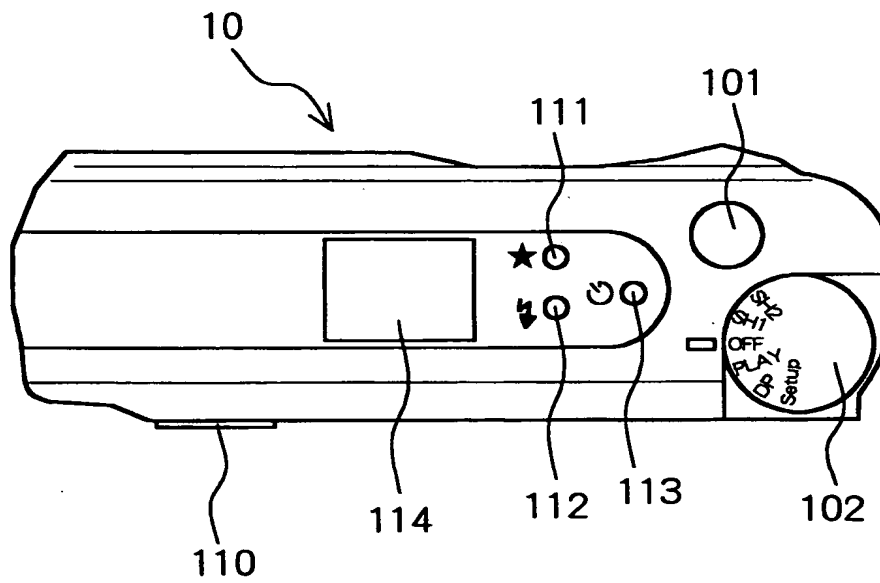
- 10 デジタルカメラ
- 11 制御部
- 12 集光レンズ
- 121 絞り
- 13 CCD（撮像部）
- 14 A/D変換器
- 15 RAM
- 16 メモリカード
- 18 VRAM
- 19 インターフェイス
- 20 カードスロット
- 21 液晶表示装置（LCD、表示部）
- 101 シャッターボタン
- 102 モード切り替えダイヤル
- 103、104、105、106、107、108、109 入力キー
- 110 光学ファインダー

【書類名】 図面

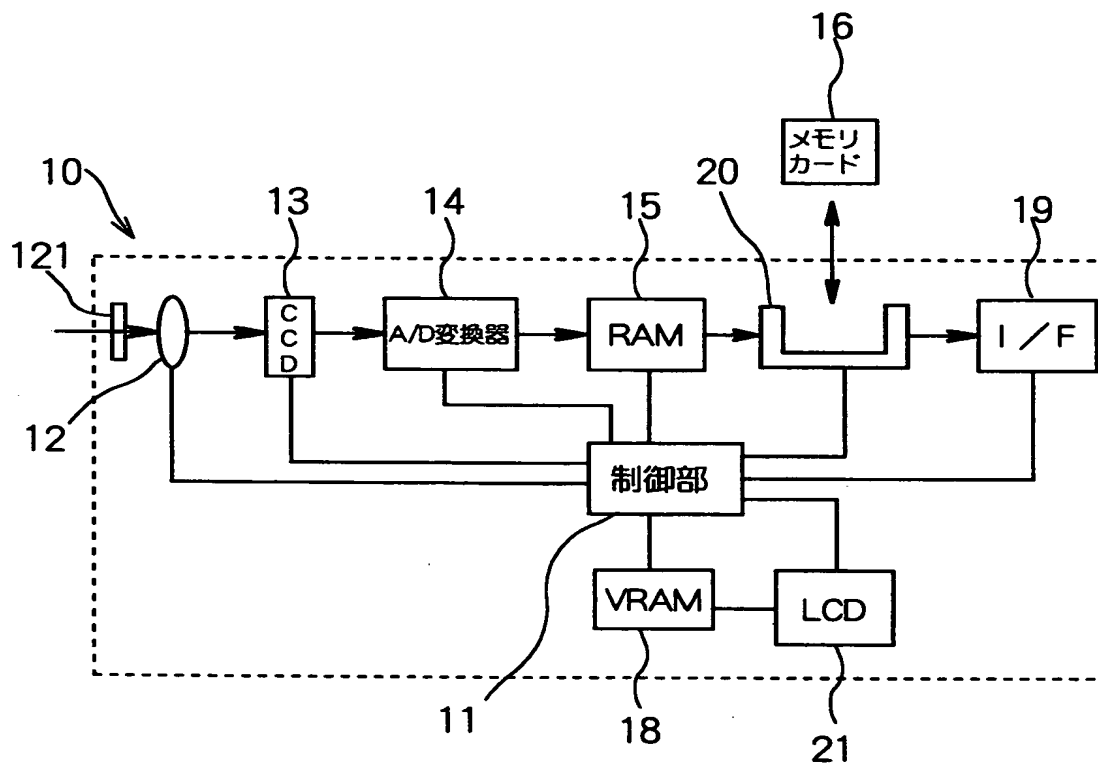
【図 1】



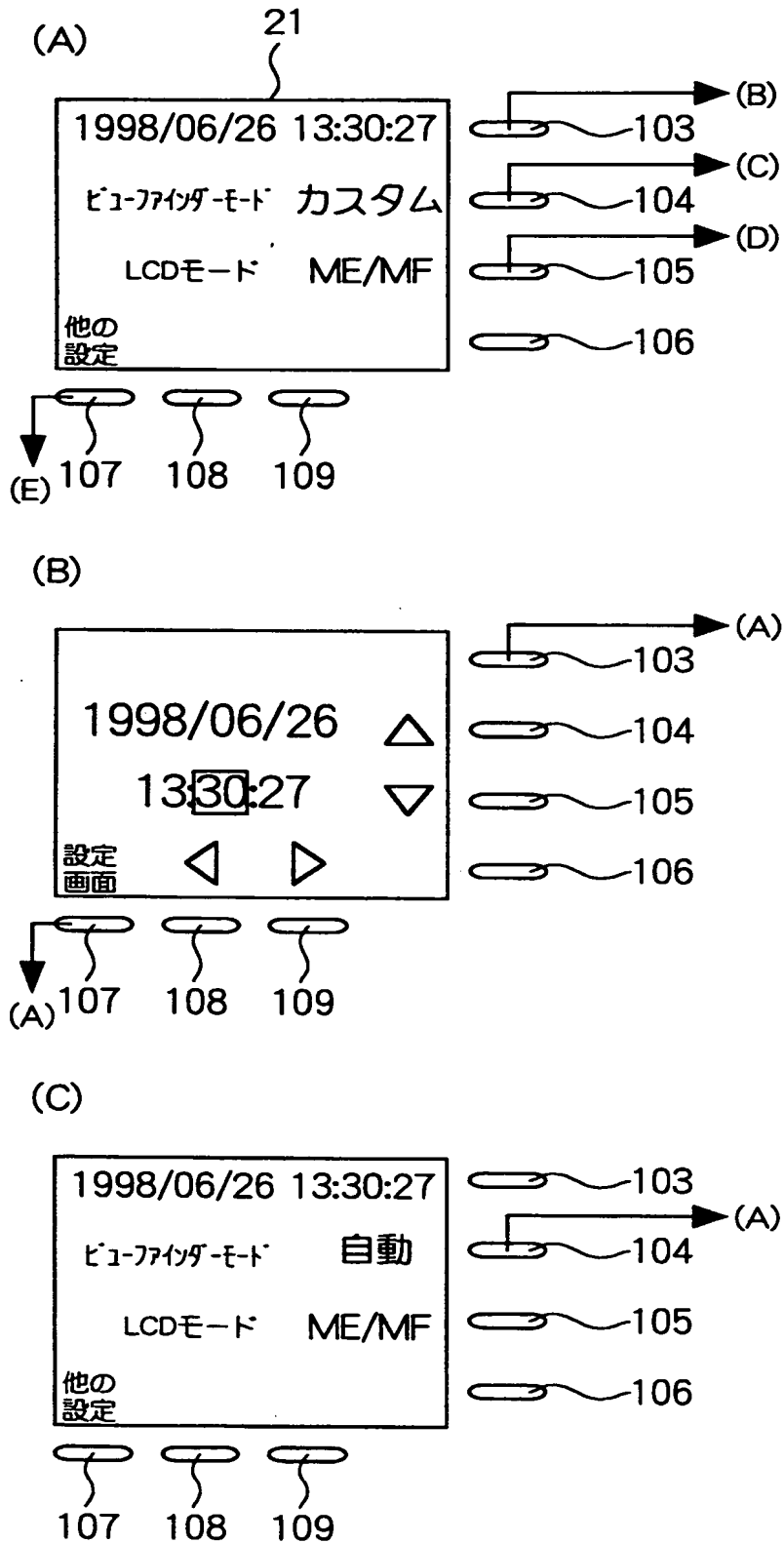
【図 2】



【図 3】

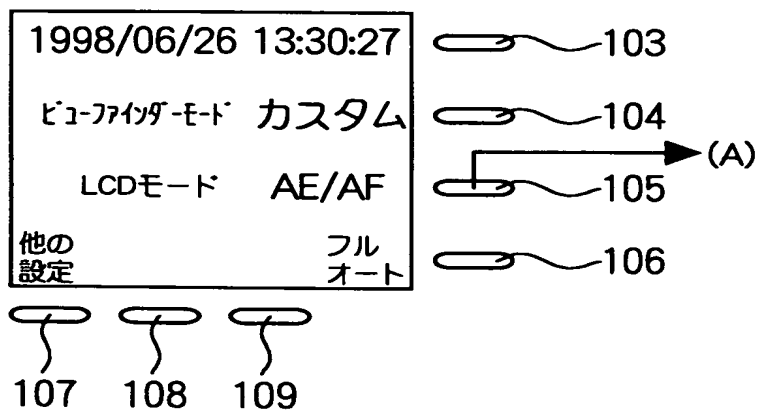


【図 4】

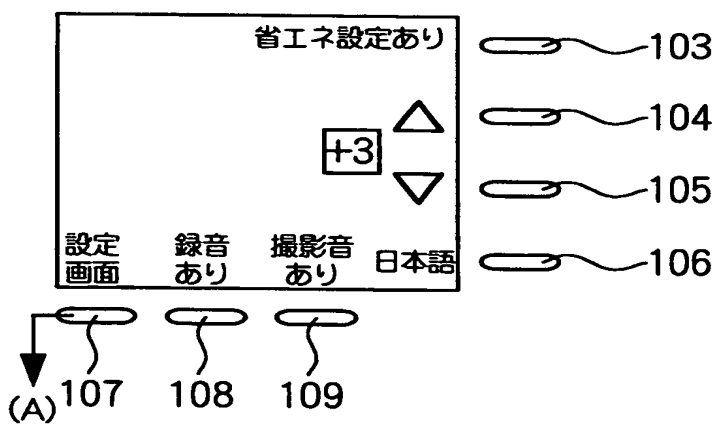


【図 5】

(D)

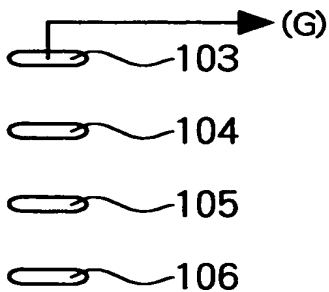
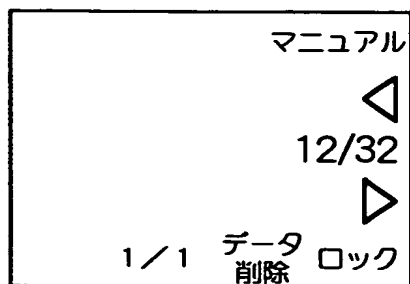


(E)

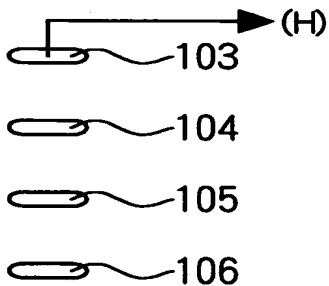
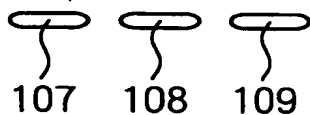
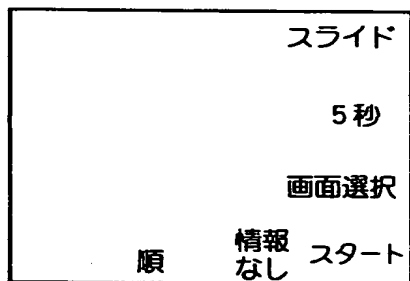


【図 6】

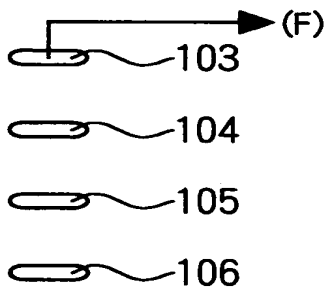
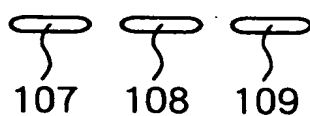
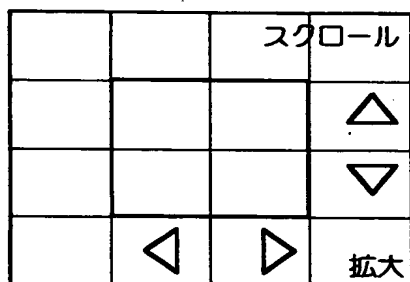
(F)



(G)

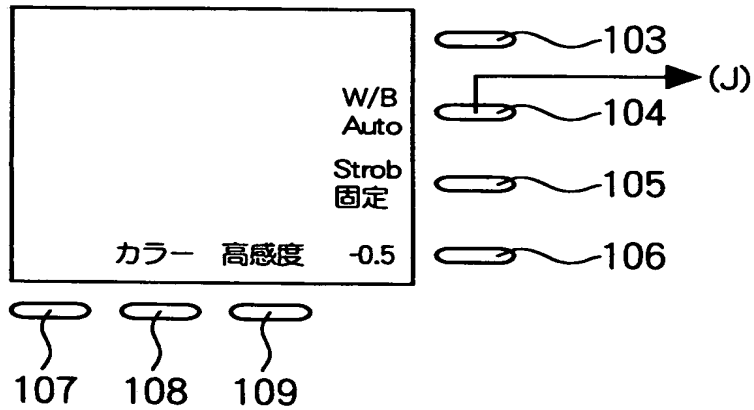


(H)

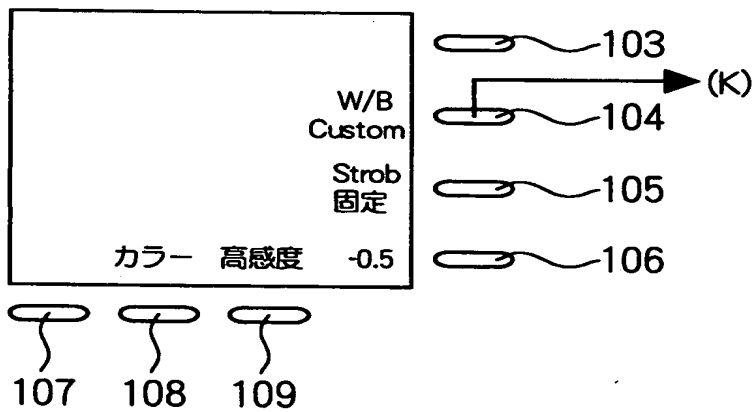


【図 7】

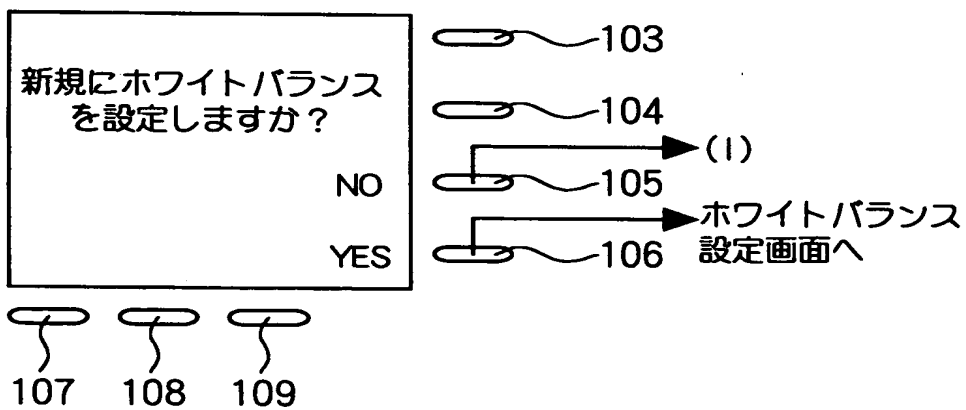
(I)



(J)

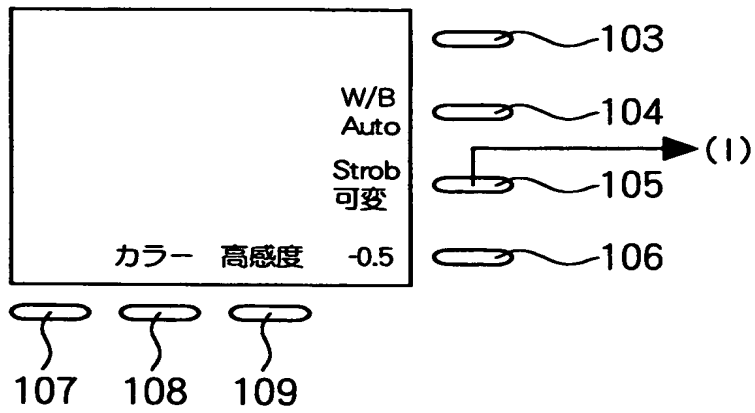


(K)

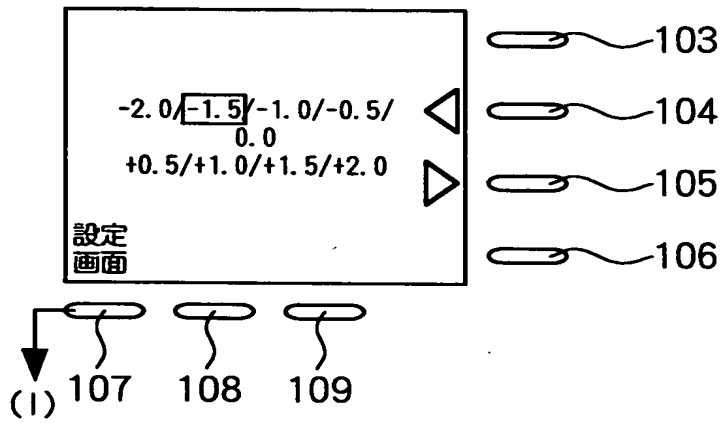


【図 8】

(L)

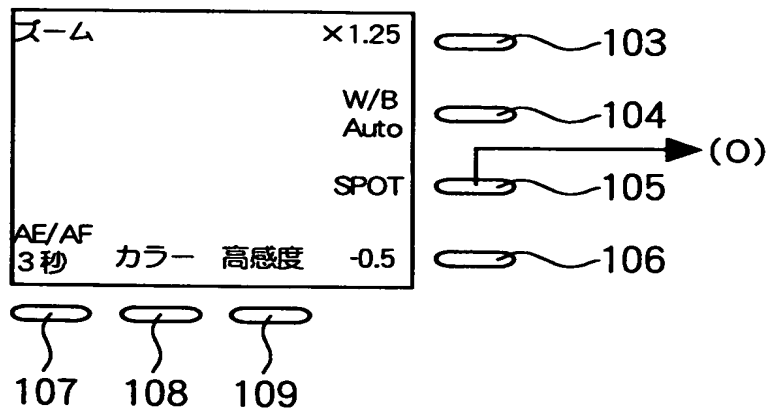


(M)

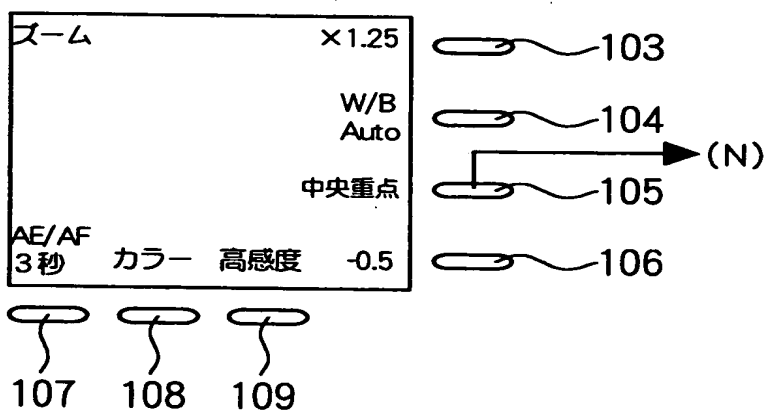


【図 9】

(N)

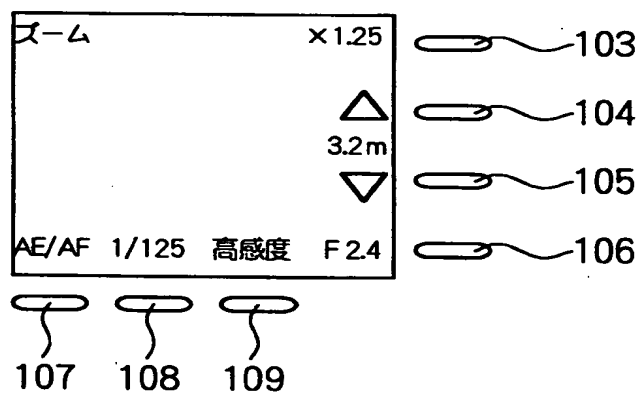


(O)

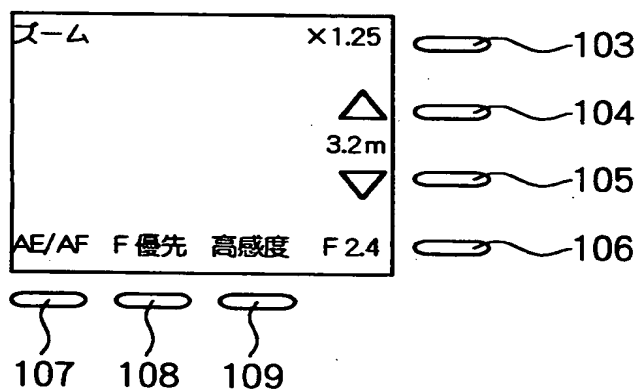


【図 10】

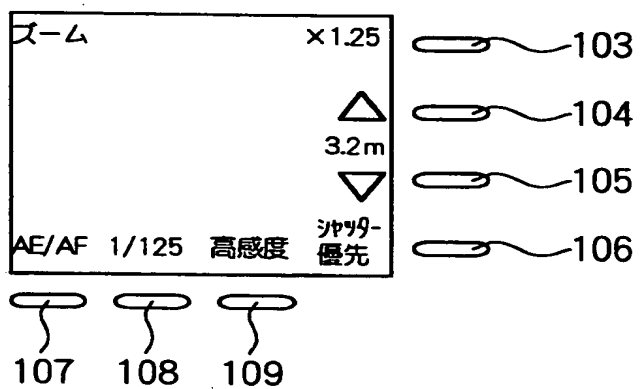
(P)



(Q)



(R)



【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 簡単な操作で種々の設定を変更することができるデジタルカメラを提供する。

【解決手段】 デジタルカメラ 1 0 には、複数の設定情報を含む設定画面を表示する L C D 2 1 が設けられる。L C D 2 1 に表示される設定画面は、撮影モード、再生モードなど、デジタルカメラ 1 0 の状態に応じて変更される。L C D 2 1 の周囲に設けられた複数の入力キーを押すことにより、入力キーの近傍に表示される設定情報を変更することができる。そして、デジタルカメラ 1 0 の制御部は設定情報に従ってデジタルカメラ 1 0 の様々な制御を行う。そのため、1 つの入力キーがモードに応じて異なる複数の機能を有する場合に、実行される処理の内容が分かりやすい。

【選択図】 図 1

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号 [000002369]

1. 変更年月日	1990年 8月20日
[変更理由]	新規登録
住 所	東京都新宿区西新宿2丁目4番1号
氏 名	セイコーエプソン株式会社